

阿 総 第 582 号

平成 29 年 12 月 6 日

阿賀野市議会議長 高 橋 幸 信 様

阿賀野市長 田 中 清 善

「第 21 回議会報告会」における市民からの要望等について（回答）

平成29年11月30日 付け 阿議第186号 で依頼のこのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

件 名	① 安田 I C の駐車場について	新町
	・安田 I C の駐車場がわかりにくく使いにくい	
<p>安田 I C の駐車場までの導線が長く、使いにくいことは承知しておりますが、平成 27 年度に安田 I C 駐車場の拡張整備と併せて、県道白根・安田線から駐車場に直接乗り入れることについて検討した結果、安田 I C への進入路と近すぎるため、道路交通として大変に危険であると判断し、現在のルートに至ったところであります。</p> <p>駐車場がわかりづらいことにつきましては、広報紙やホームページ等を活用した周知を行い、また、状況により、将来的には既存の進入路の入口をわかりやすく表示する等の工夫を行うことで、利便性の向上を図っていきたいと考えております。</p> <p>なお、参考に、今年度は「広報あがの」9月号特集の中で、安田 I C の駐車場位置図を掲載したところであります。</p>		
担当 総務部 総務課 庶務係 (内線2245)		

<p>件名</p>	<p>② あがの市民病院の2階売店の利用が不便の件について</p>	<p>新町</p>
<p>・あがの市民病院の売店が2階にあり利用が不便である。なぜ、設計段階でエスカレーターをつけなかったのか</p>		
<p>売店を2階に設置した理由としましては、外来患者の皆様が1階で診療、検査、お薬の受け取り、会計を済ませることができるように考えたことから、売店と休憩ができるスペースを1階で確保できなくなり、やむを得ず2階に設置したものです。</p> <p>次に、2階までのエスカレーターを設置しなかった理由としましては、病院に来られる患者の皆様は、車いすや、体の具合が悪い方が多いとの判断から、2階等への移動については、エレベーターを利用していただくことを基本として、2基を設置したものです。</p> <p>なお、エスカレーターの設置につきましても検討はいたしましたが、ご利用の際の転倒などが危惧されることや、維持費が高額になることから設置しなかったものです。</p>		
<p>担当 民生部 地域医療推進課 病院事業管理係 (内線2263)</p>		

	③ 人口減少対策の取り組み成果や状況について	新町
件名	・人口減少対策の取り組みで相当の努力をしていると思われるが、取り組みの成果や状況を住民に報告してもらいたい。	
<p>国立社会保障・人口問題研究所の推計値によれば、阿賀野市の人口は、42年後の平成72年（2060年）に、24,229人まで減少するとされています。</p> <p>市の将来展望としては、①合計特殊出生率の引き上げ、②若者の人口流出の抑制、③移住・定住の促進、④交流人口の拡大、⑤雇用の創出の各施策を効果的に実施していくことにより、人口3万人が維持できるものとして、阿賀野市総合戦略に基づく基本目標別の事業を推進しております。</p> <p>具体的な一例としては、「子育て環境日本一のまちづくり」を基本目標のトップに掲げ、産後健診助成や特定不妊治療助成など、県内トップクラスの支援を新たに制度化したほか、保育料などの保護者負担の軽減、子育て支援センター「にこにこ」の開設による未就学児・保護者の交流と育児不安の軽減、放課後スクールや「温故塾」の開設による児童生徒の支援などを行っています。</p> <p>また、このほかの分野でも、子育て世代の支援や移住等を促進する「虹の架け橋住宅取得支援事業」が好評であるほか、新潟市など広域自治体の施設相互利用などが可能となる連携中枢都市圏の連携協約の締結や、若手農業者の生産技術研修や新規就農者の確保を目指す「うららの森農園運営事業」などを推進しています。</p> <p>これらの結果、平成27年12月の阿賀野市の住民基本台帳人口は44,062人となっており、国立社会保障・人口問題研究所の同年での推計値（43,679人）を383人上回っており、現時点における人口減少対策の総合的な成果と考えております。</p>		
<p style="text-align: center;">担当      総務部      企画財政課      企画係      (内線2242)</p>		